

## 拠点形成研究交流報告：

### テキサス A&M 大学 Wu 特別教授による講演会が開催されました



拠点形成事業の米国側代表者であるテキサス A&M 大学の Guoyao Wu 特別教授による講演会を、9月6日、農学研究科・大会議室において開催しました。Wu 教授は、日本家禽学会 2018 年度秋季大会国際シンポジウムのシンポジストとして、仙台へ招聘されており、この機会を利用して、Wu 教授の講演会を企画しました。“The Scientific Method of Research” と題した講演で、Wu 教授の進めているアミノ酸の機能性に関する研究に関連させながら、研究に対する姿勢についての教育的な内容で、若手研究者、学生に向けての強いメッセージが込められたものでした。

参加者は 20 名程度でしたが、講演後、活発に質疑が行われ、学部学生からも、海外留学後、どのようにして円滑に研究を始め、進めるかなど、質問がなされておりました。

講演会終了後、今後の拠点形成事業や共同研究の進め方について豊水教授、野地准教授とともに、打ち合わせを行いました。まず、

本年 11 月に、米国・テキサス州カレッジステーションで開催予定の共同シンポジウムの実施内容について、最終的な確認を行いました。また、これまでにテキサス A&M 大学へ研究留学させた 2 名の大学院生の成果や、大学院生の共指導制に関する協定締結に関して、意見交換を行いました。最後に、次年度以降も、食品成分、特に消化・吸収後、体内において代謝・変換された成分による健康機能性と安全性に関する課題について、情報交換と若手研究者・学生の交流を進め、両拠点の研究をより充実させることを確認しました。

今回、このような講演会の開催、ならびに共同研究打ち合わせの機会を提供して頂きました、研究拠点形成事業の研究交流支援に感謝いたします。

